

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

作製日 2018/9/5

事業ID	404	2次評価	分野	7	07 7自治・連携	課名	税務町民課(旧町民課)
事業コード	00071	対象外事業	基本施策	2	02 2 行財政運営の充実	班名	窓口保険班
事業名	火葬料補助事務		大施策	2	02 2 質の高い行政サービスの提供		
			小施策	2	02 2 町民サービスの向上		

◆事業の説明				◆事業の予算						(単位:千円)
事業の概要	本町に住所を有していた者が死亡したことにより、他市町村の有料火葬場を使用した場合、その費用を補助し、住民の福祉の向上を図る。		会計	001	款項目	04	01	03	大事業	000700000 火葬費補助費
					H29決算額			H30決算見込	H31事業費	H32事業費
			直接事業費		2944			3360		
			人件費		675			0		
			事業費合計		3619			3360		
補足説明			国庫支出金		0			0		
			県支出金		0			0		
			地方債		0			0		
			その他		0			0		
根拠法	中井町火葬料補助条例		一般財源		3619			3360		
計画等										

◆事業の対象・活動・成果		◆事業の指標							
対象 (誰・何に)	死亡時に本町に住所を有していた者の遺族等。	対象 (誰・何に)	指標	単位	H29実績	H30見込	H31計画	H32計画	H33計画
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
活動 (何を)	火葬場利用料を補助する。火葬費の補助額は12歳以上は32,000円、12歳未満は16,000円を限度として交付する。	活動 (何を)	補助件数	件	92	105	105	105	105
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
成果 (めざす形)	住民が他市町村の有料火葬場を使用した場合、その費用を補助し、住民福祉の向上に寄与するもの。	成果 (めざす形)			0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

◆事業の現況評価			◆事業の状況・課題・提案・方針			
必要性	事業の必要性は薄らいでいませんか？ [4点] 依然としてニーズが高い		状況	的確かつ迅速な業務の遂行と町民サービスの向上を行っている。		
必然性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [4点] おおむね目標水準に達している		課題	平成30年4月に秦野市の斎場使用料が73,000円となり、小田原市の現在の斎場使用料は38,000円ですが、平成31年度に小田原市の火葬料使用料金も改定予定です。今後の火葬料の補助金額を他の火葬料使用料に合わせて改定したいが、予算が今までの2倍になるので、検討が必要である。		
緊急性	即座に対応しなければならない事業ですか？ [4点] おおむね目標水準に達している		提案	火葬料の補助金額を火葬使用料の引き上げ額に合わせて現在32,000円の補助金額から秦野斎場使用料73,000円から秦野市民負担額11,000円を引いた62,000円に改定することを提案し、今後も的確かつ迅速な業務の遂行と町民サービスの向上を行っていく。		
実効性	手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [4点] おおむね目標水準に達している		方針	条例に基づき、引き続き継続していく事業である。		
時代即応性	事業の目的が色あせていませんか？ [4点] おおむね目標水準に達している		一次評価 (主管課)	①拡大・拡充		二次評価 (内部評価)
持続可能性	やればやるほど職員の負担となっていないですか？ [3点] どちらとも言えない					
評価理由	火葬費補助事務は中井町火葬料補助条例を根拠として、町の自治事務として実施している事業である。					